

令和6年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 7 年 3 月 24 日

札幌市立 厚別北中学校

1 今年度の重点目標

<ul style="list-style-type: none"> 本校の特色を生かした教育課程の編成・実践・評価・改善の充実 自ら意欲を高め、主体的に取り組む学習指導の充実 特別な配慮を必要とする生徒への教育の充実 保護者・地域社会に信頼される学校を目指した相互理解と協力の推進 「働き方改革」の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に考え行動する生徒を育てる学級・学年経営と生徒会活動の充実 生徒と教師の信頼関係を大切にした生徒指導・生徒支援の充実 校内研修への意欲的な取組と自らの資質を高める研究・研修の充実 学校環境の効果的な整備と有効利用の工夫
---	---

2 本年度の経営方針

<ul style="list-style-type: none"> 創意ある教育課程の編成と実践・評価・改善に努める教育の推進 心豊かな人間性を培う教育の推進 地域社会に根差した、開かれた教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人の個性と資質・能力を高める教育の推進 たゆまぬ研修による専門性の向上と組織的教育機能が発揮される教育の推進
---	--

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	重点項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
			達成状況	改善方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
目指す子ども像	自ら学ぶ姿勢と創造性あふれる知性を培う	本校で行われている教育活動は、生徒の将来の生活につながるものとなっている	A	学校教育目標は、すべての生徒の個性の伸長を促し、将来にわたり必要とされる資質・能力を身に付けていくための教師の指針であることを共通理解し、引き続き地域や保護者の理解と信頼を得ながら、教育課程の編成と実践に努める。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		生徒一人一人の個性の伸長や資質・能力を高める教育の推進という点において適切であった。				
調和のとれた・徳・体育のち	学ぶ力	生徒主体で追究する学習課題や授業展開の工夫と問題解決能力の育成	A	「学校評価アンケート」における「ICTを活用した学習活動」に関する項目への肯定的な回答の割合が上昇しており、今後も各教科の授業での活用を進めていく。また総合的な学習の時間に対する肯定的な回答の割合も高く、充実した活動となっていると言える。	A	A
	豊かな心	生徒と教師の信頼関係を大切にした生徒理解と支援の充実	A	日々心身の状況を記録する「シャボテン」や毎学期の「教育相談アンケート」等をもとに、一人一人の生徒と学級担任による教育相談活動を今年度も展開した。SCや相談支援パートナー、関係機関との連携を更に強化し、生徒支援体制の充実を図る。	A	A
	健やかな体	体力の向上及び心身の健康の保持増進に関する支援の充実	B	通常の感染症対策に配慮しながら、運動能力の向上及び健康の保持増進を図る取組を行ってきた。生徒自身が睡眠や食習慣などを見直し、規則正しい生活習慣を身に付けられるよう、家庭との連携の強化を図る。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		生徒のやるべきことが増え、余裕をもてる時間が削られることによって、規則正しい生活の習慣化が困難になる場合もあると思われる。ICT活用は便利な反面、生徒との関係が希薄ならないか心配である。また、効果的に使うための教員研修がさらに増えるのではないかと危惧する。				
札幌らしい特色ある学校教育の推進	学校図書館の活用促進と、読書の魅力に触れる指導	読書は好きである	B	札幌市の「学習などについてのアンケート」における「読書」に関する肯定的な回答割合は年々低くなり、今年度は約68%にまで落ち込んだ。デジタル化が進む流れの中でも、本に親しむ姿勢を大事にできるよう、学校司書と連携しながら読書指導を継続する。	A	A
子どもの発達への支援	特別な配慮を必要とする生徒のニーズに応じた適切な指導・支援の充実	安心して学校に通うことができている	A	学びのサポーターの活用による別室登校生徒への支援や、保健室での養護教諭による心のサポート等により、今年度も様々な状況を抱える生徒に対して手厚く支援することができた。また、要望に応える形での授業配信も随時行われた。	A	A
信頼される学校の創造	各種たよ及びホームページ等による効果的な学校情報の発信	学校の教育情報は適切に発信され、内容も理解されている	B	学校ホームページで情報の公開やお知らせ、「すぐる」による情報発信を必要に応じて行い、参観人数制限のない授業公開や学校行事の保護者参観なども積極的に行った。	A	A
教科等の枠組を越えた教育	各教科の学習を基礎とした、キャリア教育の推進	総合的な学習は目標・ねらいが明確で、充実した活動を行っている	A	総合的な学習の時間のテーマを「キャリア教育」として全学年で実施している。職業講話や講演等から学び、さらに自ら調べて発表することを通して、発達段階に応じた社会的・職業的自立に向けた必要な資質・能力の向上を育みたい。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		アンケートにおける保護者の意見や質問とその回答が分かるような取組をお願いしたい。「すぐる」を活用し、地域とも連携がとれるような方向性が望ましい。				
学校独自に設定する分野	各教科の評価・評定は適切であり、学習意欲の向上につながっている		A	学校教育説明会や配布文書を通して学習における評価・評定について説明を行ってきた。「学校評価アンケート」の「評価・評定」の項目に対する教職員の肯定的な割合は上昇しており、今後も妥当性や信頼性を高められるように研修を重ねていきたい。	A	A
	自ら判断し、行動できる生徒の育成を目指した生徒指導に力を入れている		A	本校で大切にしている「TPO」の理念を今後も継承する。日常から集団生活の向上と生徒の自主性を育むとともに、非常時にも的確な行動が取れたり、学校生活でのピアサポートなどにつながったりする「積極的TPO」の力を育てる取組を推進する。	A	A
	行事、生徒会活動等が活発であり、生徒が積極的に活動できる環境が整っている		A	本校の文化的行事「厚北文化芸術祭」に更に創意工夫を加えて進化・発展させていくことで、活動に取り組む生徒の満足感を高めたい。生徒が主体的に考え、温かい人間関係を構築することのできる生徒活動を引き続き重視していく。	A	A
	地域や保護者の意見が学校運営に反映されている		A	今後のCSを念頭に置き、地域や保護者の方が直接学校生活の様子を見ることが出来る機会を徐々に増やしていくようにする。授業参観や学校行事を積極的に公開する態勢をさらに整えていくようにする。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		厚北文化芸術祭や合唱交流会の取組が素晴らしかった。来年度もさらに良い取組となることを期待したい。TPOについては生徒たちに考えさせる時間をこれからも大切にしてもらいたい。さまりを作って押さえ込もうとするよりも、幅広い対応が一層求められるようになってくると考える。				